

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	民設学童クラブ運営委託事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	06	03	63
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	教育総務課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	根本 政廣				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生児童	意図	放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。
事業内容	流山市では、16小学校区全てに学童クラブを設置し、指定管理者が管理運営（公設民営型）を行っているが、児童数と学童クラブの需要が増加している小学校区において、社会福祉法人等に学童クラブ（放課後児童健全育成事業）の運営を委託（民設民営型）するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成30年度から小山小学校区において、委託事業開始。平成30年4月は1単位、19名が入所した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	民設学童クラブと委託契約を結ぶことにより、小山小学校区の公設学童クラブの待機児童の解消が図られた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・民設学童クラブと委託契約を結ぶことにより、小山小学校区の公設学童クラブの待機児童の解消が図られた。 ・初年度は、開設当初ということもあり、1単位19名のスタートであったが、今後は児童数の増加により受け入れ人数の増加が見込まれる。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				12,168,630			
事業費(b)(円)				9,000,000			
うち一般財源				5,036,000			
職員給与と費(c)(円)				3,168,630			
人役・職員(人)				0.39			
人役・再任用(人)				0.25			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	該当小学校区の指定管理者と協働で待機児童の解消を図る。	③取組における課題(Check)	指定管理者が運営する公設学童クラブと民設学童クラブと協働で学童クラブの需要に対応する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	開設初年度であったことから、広報紙やホームページで施設の周知を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	学童クラブの需要が今後も増加する中で、現在実施する小学校区以外にも待機児童の解消のため、受け皿を検討する必要がある。